「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」実施事業進捗状況調査結果

<施策(1)> 男女共同参画意識の普及・啓発と教育【I-1-(1)】

活動(成果)指標

※「第2次にのみや男女共同参画プラン」施策(1)No.1参照(計画見直し時調査)

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女共同参画が町民に理解されている (男女共同参画アンケート結果による)	地域政策課	31%	—	—	—	—	

施策の方向

プランNo.	事業内容	担当部署	平成30年度実績	
			取組み実績内容	今後の課題とその対応
I-1-(1)-①-1	男女が共に活躍できるための情報発信 ジェンダー、LGBT等、多様な視点をもって、ホームページ、広報等を活用し、広く情報発信します。	全課 【地域政策課】	<ul style="list-style-type: none"> 町ホームページに県等のホームページへのリンクを張り、情報を得られるようにした。【地域政策課】 県や国からのリーフレットやチラシなどの配架した。【地域政策課】 男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動、人権週間、人権問題研修会について町広報紙に掲載。【地域政策課】 神奈川県が運営する性犯罪・性暴力被害者の支援センターである「かならいん」周知用カードを配架した。(約100枚)【防災安全課】 県発行のリーフレットや県開催の講座のチラシ等を窓口で配架した。【福祉保険課】 二宮町児童生徒安全対策協議会の開催(年2回)【教育総務課】 女性消防吏員の活動を二宮町のフェイスブックを利用し発信。【消防課・消防署】 	<ul style="list-style-type: none"> 少しでも多くの人の目に情報が触れるようホームページや町広報紙を活用していく。【地域政策課】 継続して実施していく。【福祉保険課】 1年間限定発信としていたため継続予定なし。【消防課・消防署】
I-1-(1)-①-2	町民団体と連携した意識啓発 町民団体の意見や企画を取り入れ、講座等を開催します。(1回/年)	地域政策課	<ul style="list-style-type: none"> 町民団体「にのみや男女共同参画推進の会」のミーティングに参加し、日頃から団体から情報や意見の収集を行った。団体と企画を考え、男女共同参画フォーラムを開催した。 実施日:2月11日 参加者:37名 	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画を考えるきっかけとなるような講座を今後も継続して開催していく。 幅広く参加者を募るために、引き続き町民団体と連携を図っていく。
I-1-(1)-②-1	男女共同参画関係図書等の収集、情報提供 図書館で、関係図書やDVDを収集します。また、男女共同参画月刊においては、特設コーナーを設け、情報提供します。(1回/年)	【生涯学習課】 地域政策課	<ul style="list-style-type: none"> 「男女共同参画週間」に合わせて、図書館で「男女共同参画」の特設コーナーを6月1日から6月30日まで設け、男女共同参画やLGBT等に関する図書をはじめ、リーフレットやチラシ等の配架を行った。【生涯学習課・地域政策課】 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も連携をとり、図書の選別や男女共同参画関係のリーフレット等の配架を工夫し、継続をしていく。
I-1-(1)-②-2	調査・研究における男女別データの充実 アンケート調査等を実施する際、可能な限り、男女別にデータを収集し、必要に応じ男女別にデータを集計します。	全課 【地域政策課】	<ul style="list-style-type: none"> 「男女共同参画フォーラム」開催時に行った事前アンケートでは、男女別にデータを収集し、男女別のデータ集計を行った。【地域政策課】 中学生向けに「選挙に係る投票所のアンケート」を実施。(男女別のデータ収集は行っていない。【選挙管理委員会事務局】 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き講座等開催時にアンケートを実施し、情報収集を行っていく。【地域政策課】 アンケート等の実施を行う際には、必要に応じ男女別にデータを集計する。【財務課】 アンケート調査等を実施する際は考慮する。【福祉保険課】

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(2) > 性別役割分業意識の解消に向けた啓発【 I-1-(2)】

活動(成果)指標

※「第2次にのみや男女共同参画プラン」施策(2)No.1参照(計画見直し時調査)

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
性別による役割分業意識が解消されている (男女共同参画アンケート結果による)	地域政策課	25%	—	—	—	—	—

施策の方向

プランNo.	事業内容		担当部署	平成30年度実績	
				取組み実績内容	今後の課題とその対応
I-1-(2)-①-1	男女共同参画講演会の開催	男女が個人として尊重され、性別に関わらず、個性と能力を發揮できる社会を実現するための講演会を開催します。(1回/年)	地域政策課	・町民団体「にのみや男女共同参画推進の会」と県との共催で「男女共同参画フォーラム」を開催した。 実施日:2月11日 参加者:37名	・今後も男女共同参画を考えるきっかけとなるような講座を継続して開催していく。 ・幅広く参加者を募るために、引き続き町民団体と連携を図っていく。
I-1-(2)-②-1	成長段階に応じた個性や能力が發揮できる職業観や生活観を育む教育の推進	幼少期からの男女平等意識の形成に繋がるよう、育児教室における情報提供や、おはなし会などを通じた啓発をします。	【子育て・健康課】 生涯学習課 教育総務課	・マタニティ教室:3回×4コース 参加者:97名【子育て・健康課】 ・町内各小・中学校におけるキャリア教育の実践【教育総務課】 ・小学生:生活科や社会科、総合的な学習の時間などにおいて身近な職業について知る(随時)【教育総務課】 ・中学生:職場体験学習や進路学習(各校年1回ずつ実施)【教育総務課】	・幼少期からの男女平等意識を出産前の保護者へ啓発し、生まれてきた子にもその意識形成につながるよう、各月齢の教室で取り組む。【子育て・健康課】
I-1-(2)-②-2	学習指導要領に基づく男女平等教育の実施	教育関係者に対し、人権教育を進めるための研修を実施し、性別にとられない能力や適性を活かした教育活動を行うことで、人権の尊重、男女平等など児童生徒の理解を深めます。	教育総務課	・小中学校の健康教育の中で実施。小学校は主に4年生以上を対象に実施。例)「二次性徴」、「わたしたちの発達と変化」等。中学校は各学年に応じた目標毎に性教育・HIV教育を実施。例)「体の發育・発達」、「思春期のこころ」等。/学校の年間計画に基づき実施。	—

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」実施事業進捗状況調査結果

< 施策(3) >働き方の見直しに向けた啓発【 I-1-(3)】

活動(成果)指標

※「第2次にのみや男女共同参画プラン」施策(3)No.2参照(計画見直し時調査)
 ※「第2次にのみや男女共同参画プラン」施策(3)No.4参照(計画見直し時調査)

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ワーク・ライフ・バランス達成割合 (男女共同参画アンケート結果による)	地域政策課	31%	-	-	-	-	
育児・介護休業制度の取得割合 (男女共同参画アンケート結果による)	地域政策課	11%	-	-	-	-	

施策の方向

プランNo.	事業内容	担当部署	取組み実績内容	
			取組み実績内容	今後の課題とその対応
I-1-(3)-①-1	仕事と生活の両立支援 夫婦で参加するマタニティ教室などを含め、男性が家庭・育児・介護に参加し楽しむことができる講座等を実施します。(10事業/年)	【子育て・健康課】 高齢介護課 生涯学習課	・男の料理教室(ヘルスメイト二宮自主事業) 実施時期:6月27日、2月20日。参加者:25名【子育て・健康課】 ・マタニティ教室 3回×4コース実施 夫参加 30名/97名【子育て・健康課】 ・通いの場にて介護予防事業の教室を開催。全32回実施。延べ731名参加。【高齢介護課】	・引き続き、男性も参加できる講座を実施していく。 【子育て・健康課】
I-1-(3)-②-1	町内事業所への啓発 労働時間の短縮と育児・介護休業制度の取得等、働き方改革につながるよう、町内事業所へ啓発します。	産業振興課	・神奈川県労政福祉課が発行する企業向け交流会やセミナー等のパンフレットを窓口や商工会等に配架し、周知・啓発を図った。	・ワーク・ライフバランスの推進が図られていることから、商工会等を通じて周知徹底を図っていく。
I-1-(3)-②-2	生涯学習に関する情報提供 趣味やレクリエーション等、個人の生活を豊かにするための講座・イベントなど、生涯学習に関する情報提供をします。	生涯学習課	・町民ニーズや学習課題に応じ、ボランティアが企画した「にのみや町民大学講座」を開催。 ・「身近な余暇ガイド」により学習情報や団体・サークル情報を提供。	・定員を満たさない講座があるため、興味関心が高いテーマ選びや周知方法について検討していく。
I-1-(3)-②-3	ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供 バランスのとれたライフスタイルへの転換を図った事例等を、国・県のパンフレット等を活用し紹介します。	地域政策課	・国や県が作成したポスターの掲示やリーフレットやチラシなどの配架を行った。	・引き続き、関係機関と連携しながら、情報提供、情報発信に努めていく

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(4) > あらゆる暴力の根絶に向けた啓発【 I-1-(4)】

活動(成果)指標

※「第2次にのみや男女共同参画プラン」施策(4)No.1参照(計画見直し時調査)

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人権問題への関心や理解度 (人権研修会アンケート結果による)	地域政策課	29%	47%				

施策の方向

プランNo.	事業内容	担当部署	平成30年度実績	
			取組み実績内容	今後の課題とその対応
I-1-(4)-①-1	人権意識の向上に向けた情報提供・周知啓発	【地域政策課】 福祉保険課 子育て・健康課 高齢介護課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 町ホームページに県等のホームページへのリンクを貼り、情報を得られるようにした。【地域政策課】 国や県のリーフレットやチラシの配架や男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動、人権週間に併せて、町広報紙に掲載をし、情報を発信した。【地域政策課】 町主催の「人権問題研修会」を開催し、人権意識の啓発向上を図った。(実施日:2月19日)【地域政策課】 県発行のリーフレットや県開催の講座のチラシ等を随時窓口で配架した。【福祉保険課】 町担当課及び地域包括支援センターが行う「認知症サポーター養成講座」などにより高齢者虐待防止に関する内容を含め啓発を行っている。【高齢介護課】 町広報紙(11月号)に啓発記事を掲載【子育て・健康課】 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もホームページや広報紙などで情報発信し、人権問題研修会を継続していく。【地域政策課】 継続して実施していく。【福祉保険課】 多様な対象者に実施を検討している。【高齢介護課】 「児童虐待防止月間」の町広報紙・ホームページ等の啓発と児童虐待に関する研修会などを開催する。
I-1-(4)-①-2	学校教育における人権教育の充実	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> 「二宮町いじめ防止基本方針」改定。二宮町人権教育担当者会(年2回) 支援教育補助員を配置:日本語でのコミュニケーション等を取ることが難しい児童生徒を対象に、日本語指導の支援教育補助員を配置し、児童生徒の学校での教育支援を行った。小学校へ3名、中学校へ3名配置/小中で年間計755時間の支援等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 人材及び予算の確保が課題である。
I-1-(4)-②-1	安全安心まちづくりパトロールの実施	【防災安全課】 都市整備課 教育総務課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心まちづくり推進協議会を開催した。(3回)【防災安全課】 防犯パトロールの実施/各地区月1回~5回【防災安全課】 二宮町青少年環境浄化推進員において、パトロールを実施。【都市整備課】 二宮町児童生徒安全対策協議会の開催/年2回開催【教育総務課】 見守り重点日における下校時の見守り活動の実施/年間3回の見守り重点日の実施。【教育総務課】 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に実施することが重要であるため、今後も定期的にパトロールを行う必要がある。【都市整備課】
I-1-(4)-②-2	犯罪未然防止のための情報提供	【防災安全課】 教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> 町ホームページに犯罪発生状況を掲載している大磯警察署ホームページのリンク先を掲載している。【防災安全課】 二宮町児童生徒安全対策協議会の開催/年2回開催【教育総務課】 	-
I-1-(4)-③-1	DV等に関する対応	福祉保険課	<ul style="list-style-type: none"> DV等被害者相談の随時受付を実施した(DVに関する相談等のうち関係機関へ繋げた相談件数1件/総相談件数2件)。 DV相談窓口のパンフレット等を配架することにより潜在的な被害者へ情報提供をした 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して実施していく。
I-1-(4)-③-2	児童虐待への対応	【子育て・健康課】 教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> 児童相談の随時受付(関係機関へ繋げたケース 8件/総相談件数1,223件)【子育て・健康課】 町教育委員会所属の臨床心理士及びSSW(スクールソーシャルワーカー)による相談体制の充実/心理士による学校巡回訪問の実施及びSSWの派遣【教育総務課】 	<ul style="list-style-type: none"> 児童相談を随時受付、関係機関につなげる案件等は、児童相談所等と今後も連携していく。【子育て・健康課】

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(4) > あらゆる暴力の根絶に向けた啓発 【 I-1-(4) 】

活動(成果)指標

※「第2次にのみや男女共同参画プラン」施策(4)No.1参照(計画見直し時調査)

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人権問題への関心や理解度 (人権研修会アンケート結果による)	地域政策課	29%	47%				

施策の方向

プランNo.	事業内容	担当部署	平成30年度実績	
			取組み実績内容	今後の課題とその対応
I-1-(4)-③-3	高齢者・障がい児者への対応	【福祉保険課】 高齢介護課	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児者に関する相談の随時受付を実施し、必要に応じて、関係機関と連携を図った。【福祉保険課】 役場や地域包括支援センターにて相談を受け付ける。高齢者の権利擁護窓口として地域包括支援センターを設置。【高齢介護課】 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して実施していく。【福祉保険課】 窓口の周知と相談体制の強化に努める。【高齢介護課】

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(5) > 政策方針決定の場への男女共同参画【Ⅱ-2-(5)】

活動(成果)指標

※「第2次にのみや男女共同参画プラン」施策(5)No.5参照(計画見直し時調査)
 ※「第2次にのみや男女共同参画プラン」施策(5)No.4参照(計画見直し時調査)

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
町審議会等への女性委員登用率	地域政策課	24.2%	28.2%				
町女性職員の管理職への登用率	総務課	14.8%	14.8%				

施策の方向

プランNo.	事業内容	担当部署	取組み実績内容	
			取組み実績内容	今後の課題とその対応
Ⅱ-2-(5)-①-1	町審議会等への女性の登用促進	全課【地域政策課】	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画審議会(45.5%:女性5名/11名)【企画政策課】 ・町民活動推進委員会(44.4%:女性4名/9名)【地域政策課】 ・情報公開審査会(14.3%:女性1名/7名)・個人情報保護審査会(14.3%:女性1名/7名)・議員報酬及び特別職給料審議会(16.7%:女性1名/6名)・公務災害補償認定委員会及び審査会(20%:女性1名/5名)・表彰審査委員会(33.3%:女性2名/6名)【総務課】 ・防災会議(16.7%:女性4名/24名)・国民保護協議会(15%:女性3名/20名)【防災安全課】 ・町民生委員推薦会(28.6%:女性2名/7名)・国民健康保険運営協議会(33.3%:女性3名/9名)【福祉保険課】 ・介護認定審査会(35.3%:女性6名/17名)・介護保険運営協議会(33.3%:女性4名/12名)・大磯町・二宮町障害支援区分等認定審査会(41.7%:女性5名/12名)【高齢介護課】 ・子ども子育て会議委員(53.8%:女性7名/13名)【子育て・健康課】 ・環境審議会(10%:女性1名/10名)・ごみ減量化推進協議会(42.9%:女性3名/7名)【生活環境課】 ・都市計画審議会(25%:女性3名/12名)【都市整備課】 ・下水道運営審議会(40%:女性4名/10名)【下水道課】 ・社会教育委員会(28.6%:女性2名/7名)・青少年問題協議会(22.2%:女性2名/9名)・図書館協議会(50%:女性4名/8名)・文化財保護委員会(0%:女性0名/5名)【生涯学習課】 ・消防賞じゅつ金審査委員会(0名:女性0名/5名)【消防課・消防署】 ・改選の際には、女性委員の積極的な登用に配慮した。【総務課】 ・介護認定審査会への女性登用を進める。【高齢介護課】 ・環境審議会等、生活環境課が事務局を務める委員会等の委員公募時に女性委員の割合を考慮しつつ、委員選定を進めた。【生活環境課】 ・農業委員の選任基準に基づき、農業者または農業者が組織する団体等からの推薦及び公募の結果を基に、議会の同意を得て町長が任命している。【農業委員会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体からの推薦についても、女性委員の積極的な推薦に配慮してもらうなど、審議会等への女性の参画を促していく。【企画政策課】 ・充て職でない委員にあつては、改選の際に女性登用を積極的に図っていく。【総務課】 ・二宮町民生委員推薦会の選出母体は民生委員活動の主旨に沿い、町内の関係団体等から1名選任しており、当該会設置目的からして、性別を指定して選出してもらうことは難しい。その他審議会等についても性別を限定して委員選出を依頼することは難しい。【福祉保険課】 ・改選の際、女性の登用を検討する。【高齢介護課】 ・現在は団体からの推薦委員の多くが選出母体での充て職となっており、今後も選出母体内での女性数に左右されることから、その対応として、選出母体に委員推薦を依頼する際、充て職にとらわれず推薦を求めるよう団体に働きかける。【生活環境課】 ・委員会の性質(農業)から女性委員の登用は難しいところもあるが、次回の改選時には積極的な女性委員の登用を図りたい。【農業委員会】 ・充て職のため委員の登用促進は難しい。【都市整備課】 ・選任に際し、専門性や居住地分散などを考慮した基準により選考となるが、今後も男女の区別ない委員登用に努める。【下水道課】 ・充て職や選出母体の事情等でなかなか進まないのが現状。【生涯学習課】
Ⅱ-2-(5)-①-2	町女性職員の管理職への登用促進	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村研修センターへの派遣研修等を通じて、職員の職務能力の向上など、人材育成に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成を進めていくためにも、職務階層に応じた研修をより受講しやすい環境を整備していく。

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(6) > 家庭生活における男女共同参画 【Ⅱ-2-(6)】

活動(成果)指標

※「第2次にのみや男女共同参画プラン」施策(6)No.2参照(計画見直し時調査)

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
家庭・育児・介護支援事業数	子育て・健康課 高齢介護課	10事業	8事業				

施策の方向

プランNo.	事業内容		担当部署	平成30年度実績	
				取り組み実績内容	今後の課題とその対応
Ⅱ-2-(6)-①-1	仕事と生活との両立支援(再掲)	夫婦で参加するマタニティ教室などを含め、男性が家庭・育児・介護に参加し楽しむことができる講座等を実施します。(10事業/年)	【子育て・健康課】 高齢介護課	<ul style="list-style-type: none"> ・「男の料理教室(ヘルスマイト二宮自主事業)」実施時期:6月27日、2月20日。参加者:25名【子育て・健康課】 ・「マタニティ教室」3回×4コース実施 夫参加30名/97名【子育て・健康課】 ・親子講座(子育てサロン)、離乳食講習会、にこにこ教室、はぐ・HUG教室の実施。【子育て・健康課】 ・通いの場にて介護予防事業の教室(介護予防教室等含む)の開催。全32回実施。延べ731名参加。【高齢介護課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、男性も参加できる講座を実施していく。【子育て・健康課】
Ⅱ-2-(6)-①-2	父子手帳の交付	父親の子育て参加を促すため、父子手帳を交付します。	子育て・健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・母子手帳に記載されている内容が、母・父親向けのものとなっており、母子手帳を父にも母にもみていただきたいという考えから、父子手帳は配布していない。母子手帳交付件数129件うち父同伴7名。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子手帳の交付申請は、父や祖父母が代理でも構わないため、今後はそういった啓発をしていく。
Ⅱ-2-(6)-②-1	男女が参加しやすい事業の開催	会議や講座・イベント等を休日・夜間に開催したり、託児サービスを準備するなど、男女問わず参加しやすい環境を整備します。	全課 【地域政策課】	<ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画フォーラム」の開催日を休日に設定し、託児サービスを設けた。【地域政策課】 ・町民活動推進委員会を夜間に開催し、補助金のプレゼンテーションや報告会は休日に開催した。その他のイベントについても参加しやすいよう休日での開催とした。【地域政策課】 ・ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい及び新春のつどい時に、会場であるラディアンホールの親子室を開放し、参加しやすいよう配慮した。【総務課】 ・安全安心まちづくり講座(10月開催・参加者約55名)、防災講演会(1月開催・参加者約80名)及び防災指導員研修会(年間5回開催・参加者合計数約169名)を休日に開催した。【防災安全課】 ・手話講習会(入門・基礎)については隔年で昼間と夜間で実施している(平成30年度は昼間に開催)。【福祉保険課】 ・会議や講座・イベント等を休日・夜間に開催したり、託児サービスを準備するなど、男女問わず参加しやすい環境を整備する。【高齢介護課】 ・会議やイベント等の事業を実施する際、老若男女問わず、参加する対象に合わせた日程、時間帯での実施に努めるとともに、階段等による移動負荷の少ない会場の選定や、荷物置き場の設置等により、事業に参加しやすい環境に配慮した。【生活環境課】 ・議会報告会・意見交換会を土日にも開催した。また、ラディアンでも開催し、家族連れで参加しやすいようにした。【議会事務局】 ・男女共同参画研修会は託児サービスを用意。にのみや町民大学講座では様々な曜日・時間帯に開催し、男女問わず誰もが参加しやすいようにしている。【生涯学習課】 ・応急手当講習会として普通救命講習の定期開催及び上級救命講習を土曜日に実施している。その他、団体の要望により平日・土日関わらず開催をしている。(全31回開催・496名受講者中の女性受講者248名)※中学生含む【消防課・消防署】 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き開催日を休日や夜間で設定し、必要に応じて託児サービスも設けていく。【地域政策課】 ・引き続き、誰もが参加しやすいイベント運営に努める。【総務課】 ・講座・イベント等を実施する際は考慮する。【福祉保険課】 ・現在は参加対象に合わせ、日時等を考慮しているが、今後、参加対象の増加に反比例して、すべてのニーズに対応することが困難になることから、その対応として、日時等の考慮以外での、参加しやすい環境について検討していく。【生活環境課】 ・前年度と同様に事業を進めていく。【消防課・消防署】

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(7) > 地域活動における男女共同参画 【Ⅱ-2-(7)】

活動(成果)指標

※新規
※「第2次にのみや男女共同参画プラン」施策(7)No.7参照(計画見直し時調査)

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地区長の女性割合	地域政策課	5.0%	10.0%				
防災会議の女性委員割合	防災安全課	12.5%	13.0%				

施策の方向

プランNo.	事業内容	担当部署	取組み実績内容	
			取組み実績内容	今後の課題とその対応
Ⅱ-2-(7)-①-1	地区役員への女性登用促進 二宮町地区長連絡協議会にて、地域づくりに関する女性視点の重要性を周知し、地区長等の自治会役員への女性登用の促進を働きかけます。	地域政策課	<ul style="list-style-type: none"> 地区長連絡協議会の総数20名(地区選出)のうち女性地区長は2名。 地区長連絡協議会の会議にて、資料を配布し地区役員等での女性役員登用促進の働きかけを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区や自治会へ直接的な働きかけは難しいが、連絡協議会への働きかけは今後も継続していく。
Ⅱ-2-(7)-①-2	地域ボランティア活動の支援 地区長等と連携し、様々な立場の人が豊富な経験を活かし地域活動へ参加されるよう研究・調査・支援を行います。	地域政策課	<ul style="list-style-type: none"> 一色小学校区地域再生協議会を設立し、地区の枠を超えた活動を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けた取り組みを行う町民団体や地域に対しては自立を目的とした財政的、人的支援を引き続き行っていく。
Ⅱ-2-(7)-②-1	防災会議への女性登用促進 防災・復興に係る意思決定の場に女性が参画できるよう女性登用を促進します。	防災安全課	<ul style="list-style-type: none"> 委員の総数23名(全て充て職)のうち女性委員は3名。 	—
Ⅱ-2-(7)-②-2	防災指導員への女性登用促進 平時から男女共同参画の視点をもった地域防災体制が整備できるよう防災指導員の選出について女性登用の促進を働きかけます。	防災安全課	<ul style="list-style-type: none"> 防災指導員の総数60名のうち女性は11名。各地区に対して女性登用の呼びかけを行った。 	—
Ⅱ-2-(7)-②-3	防災に関する男女共同参画意識の醸成 予防、応急、復旧、復興等のすべての局面において女性が重要な役割を果たしていることを認識し、防災訓練、講座等において女性が防災・復興の主體的な担い手であることを周知し男女共同参画意識の醸成をします。	防災安全課	<ul style="list-style-type: none"> 女性防災隊による地域自主防災での指導や防災活動への参加の促進。(女性防災隊の隊員数は10名) 	—

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(8) > 働く場における男女共同参画 【Ⅱ-2-(8)】

活動(成果)指標

※新規
※新規

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
町職員における男性の育児休暇取得率	総務課	12.5%	0%				
町職員における男性の配偶者出産休暇及び育児参加休暇の取得率	総務課	配偶者出産休暇 80.7% 育児参加休暇 50%	配偶者出産休暇 66.7% 育児参加休暇 22.2%				

施策の方向

プランNo.	事業内容	担当部署	取組み実績内容	
			取組み実績内容	今後の課題とその対応
Ⅱ-2-(8)-①-1	町内事業所における啓発	産業振興課	女性の雇用環境整備や管理職登用の促進及び「男女雇用機会均等法」、「パートタイム労働法」などの遵守について二宮町商工会の会議等の機会を活用して働きかけます。啓発回数:2回/年	・会議等の機会においては周知などの実施していないが、商工会へチラシなどの配架を依頼。 ・引き続きチラシの配架を含め会議などの機会に周知することも視野に入れ周知方法を検討していく。
Ⅱ-2-(8)-①-2	就業相談の支援	産業振興課	女性の就業における相談について、県の相談窓口を紹介するとともに、関連する情報を収集し、提供します。	・神奈川県労政福祉課が発行する企業向け交流会やセミナー等のパンフレットを窓口や商工会等に配架し、周知啓発を図った。 ・女性の就職、キャリアアップに特化した機関が少ない。 ・今後も引き続き情報収集、情報提供を図っていく。
Ⅱ-2-(8)-①-3	総合評価入札制度の導入検討	財務課	女性の活躍やワーク・ライフ・バランスを推進する事業所を入札制度において優遇する取り組みについて検討します。	・近隣自治体の情報を収集しつつ、実情に合った運用ができるよう検討を行っている。 ・継続して検討していく。
Ⅱ-2-(8)-②-1	町職員における男性の育児休業等の取得促進	総務課	父親として育児に参加することは重要であるため、男性職員の積極的な育児休業等の取得を促進します。	・二宮町次世代育成支援対策及び女性活躍推進法に関する特定事業主行動計画、ワークライフバランス推進のための休暇マニュアルを周知した。 ・男性職員が育児休業等を取得しやすい職場環境づくりの向上に努めていく。

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」実施事業進捗状況調査結果

< 施策(8) > 働く場における男女共同参画【Ⅱ-2-(8)】

活動(成果)指標

※新規
※新規

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
町職員における男性の育児休暇取得率	総務課	12.5%	0%				
町職員における男性の配偶者出産休暇及び育児参加休暇の取得率	総務課	配偶者出産休暇 80.7% 育児参加休暇 50%	配偶者出産休暇 66.7% 育児参加休暇 22.2%				

施策の方向

プランNo.	事業内容	担当部署	取組み実績内容	
			取組み実績内容	今後の課題とその対応
Ⅱ-2-(8)-②-2	時間外勤務の縮減 週1回、各課で定時退庁日を設定するとともに、8月をワーク・ライフ・バランス月間とし、定時退庁の推進を図ります。また、毎月19日を「育児の日」22日を「夫婦の日」として定時退庁を促す雰囲気づくりを推進します。	全課 【総務課】	<ul style="list-style-type: none"> 毎週水曜日の終業定時に全職員へ庁内グループウェアを活用し、定時退庁を周知した。【総務課】 二宮町次世代育成支援対策及び女性活躍推進法に関する特定事業主行動計画、ワークライフバランス推進のための休暇マニュアルを周知した。【総務課】 職員同士が声掛けなどを行った【地域政策課】 業務内容の簡素化や業務分担の見直し等を行うことにより、業務時間の短縮を目指した。【財務課】 定期的に課内で業務の進捗状況を共有し、効率的な業務処理を推進することにより、定時退庁に努めている。【防災安全課】 毎週水曜日をノー残業デーとして設定し、時間外の縮減に取り組んだ。【高齢介護課】 業務に支障のない範囲で、週1回の定時退庁日の履行だけでなく、二宮町職員提案制度に基づく改善提案として月1回の「超ノー残業デー」を課内で実践するとともに、「地球温暖化対策実行計画」に基づく、ライトダウンキャンペーン(一斉消灯)の実施や節電啓発と合せ、イントラインフォメーションによる周知啓発を実施した。【生活環境課】 週1回、定時退庁日を設定し実施している。【都市整備課】 定時退庁を心掛けているが、毎月19日を「育児の日」22日を「夫婦の日」などの実行は出来ていない。【下水道課】 業務における各作業の工数及び分担の分析を実施し、簡素化効率化を図った(収入票ポスティング等)。 これらにより、週1回と言わず定時退庁を実施。【出納課】 ・毎週水曜日に総務課から送信されるノー残業デーのインフォメーションを受けて、課員同士が声かけを行っている。【教育総務課】	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務の縮減については、業務の効率化と併せて、管理職によるマネジメントの強化、職員間の連携の強化を図っていく。【総務課】 引き続き職員同士の声掛けを行い、定時退庁がしやすい雰囲気作りをしていく。【地域政策課】 継続して実施する【財務課】 時期をみて取組みを実施する。【福祉保険課】 現在は年1回の「ライトダウンキャンペーン」職員協力のもと実践しているが、今後、庁舎外の公共施設においても活動の輪を拡げる必要があるため、その対応として、業務に支障のない範囲において、庁舎外施設での実践について施設所管課に働きかける。【生活環境課】 現場対応等で週1回の定時退庁日が取れない場合もあるため、振替日を設けるようにする。【都市整備課】 今後も継続して業務の効率化を図るとともに、課内で補完しあうなど協力した業務遂行に努める。【下水道課】 引き続き作業の効率化を図り、時間外勤務の縮減に努めていく。【出納課】

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(9) > チャレンジやキャリアアップのための支援 【Ⅲ-3-(9)】

活動(成果)指標

※新規

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
創業塾受講者数	産業振興課	9名	7名				

施策の方向

プランNo.	事業内容		担当部署	平成30年度実績	
				取組み実績内容	今後の課題とその対応
Ⅲ-3-(9)-①-1	女性の職業訓練・キャリアアップに関する情報提供	県等からの冊子やパンフレット配架により情報提供を行います。	【産業振興課】 地域政策課	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県が行っている託児サービス付きの職業訓練校生徒募集などのチラシやパンフレットを配架し、周知啓発を図った。【産業振興課】 国や県からのリーフレットやチラシ等の配架を行った。【地域政策課】 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の就職、キャリアアップに特化した機関が少ない。今後も引き続き情報収集、情報提供を図っていく。【産業振興課】 関係機関と連携し、引き続き情報提供に努めていく。【地域政策課】
Ⅲ-3-(9)-①-2	起業家支援	商工会と連携して、創業塾を開催し起業に関する情報提供などを行うほか、創業支援事業計画を策定し、事業者や町民などによる起業を支援します。	産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 商工会や金融機関等連携し、町の創業支援事業計画に位置付けられている創業塾や相談窓口等を設置するなど、各種支援策等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 創業者に有益な補助制度等がないため、補助制度等の創設の検討する

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(10) > 育児や介護への社会的支援 【Ⅲ-3-(10)】

活動(成果)指標

※「第2次にのみや男女共同参画プラン」施策(10)No.1参照

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
待機児童数(4月1日)	子育て・健康課	5名	1名				

施策の方向

プランNo.	事業内容		担当部署	平成30年度実績	
				取組み実績内容	今後の課題とその対応
Ⅲ-3-(10)-①-1	保育サービスの量と質の向上	子ども・子育て支援事業計画に基づき、保育士を確保し、待機児童解消、延長保育事業の充実、休日、夜間、病児・病後児保育等のサービスについて検討します。	子育て・健康課	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度に新たな民間保育所開設に向けた支援を行うとともに、保育士確保対策に向けた検討を行った。 大磯町との連携により病後児保育施設を確保した。(登録者8名、内利用者0名) 	—
Ⅲ-3-(10)-①-2	放課後児童対策の充実	学童保育や放課後子ども教室など、放課後の児童の居場所を確保します。	【子育て・健康課】 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 町内学童保育所の運営を民間委託により実施。民設民営の学童へ補助金を交付【子育て・健康課】 子どもの安全・安心な居場所づくりとして町内3校の小学校の体育館にて「放課後子ども教室」を開催。【生涯学習課】 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室当日の見守りや遊びのお手伝い、運営補助をする「放課後子ども教室サポーター」が依然として少ないため、事業自体の周知やサポーター募集について検討していく。【生涯学習課】
Ⅲ-3-(10)-①-3	ファミリー・サポート・センターの周知と利用促進	まかせて会員の講習会を実施し、会員の増加と支援体制の充実に努めます。	子育て・健康課	<ul style="list-style-type: none"> まかせて会員養成講座を年2回実施。(計4名参加。内登録者3名) 	—
Ⅲ-3-(10)-①-4	ひとり親家庭の自立支援	手当等の支給、保育所入所の優先措置など、ひとり親家庭に対する支援を充実させます。	子育て・健康課	<ul style="list-style-type: none"> 福祉医療証(ひとり親医療証)発行。 	—
Ⅲ-3-(10)-①-5	子育て支援ネットワークの充実	教育・保育施設、民生委員等と連携し、育児・児童虐待等の相談体制の充実を図ります。	【子育て・健康課】 福祉保険課 教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等による育児相談の周知。 育児相談体制の充実を図った。 保健センター(児童相談員):373件。 子育てサロン(保健師、保育士):相談内容が多岐にわたるためカウント不可。 百合が丘保育園(保育士、管理栄養士):0件 巡回・派遣事業:臨床心理士、児童相談員、保健師等を派遣し、育児、発達等気になる子をサポート:96件 コミュニティ保育団体への補助金交付:補助金総額285,000円 平成30年度交付団体:にのキッズ(22名)、いち・にの・さんこあら(12名)、いち・にの・さんラッコ(15名)、森のようちえん(8名) 関係各課において民生委員の協力が必要な際に連携できるよう努めた。【福祉保険課】 就学相談の実施(就学相談は、町HPやお知らせ版各幼稚園等に文書配布をして周知。)/相談件数:30件【教育総務課】 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、さまざまな機関と連携し、情報の収集や対応の充実を図る。【子育て・健康課】 継続して実施していく。【福祉保険課】 福祉・教育部門との連携継続する【教育総務課】
Ⅲ-3-(10)-①-6	公共スペースの有効活用、バリアフリーやプライバシーの視点による公共施設設備等の点検	公共施設の再配置に当たっては、子育て世代、高齢者、障がい児者等あらゆる視点を持って機能向上に努めます。	【企画政策課】 財務課 教育総務課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 利用機会の平等性等に配慮しながら、「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」に基づいた取り組みを推進した。【企画政策課】 施設機能向上や変更時にスペースの有効活用や利用者の利便性を常に念頭に検討している。【財務課】 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き計画の推進を図る。【企画政策課】 継続して実施する。【財務課】

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(10) > 育児や介護への社会的支援 【Ⅲ-3-(10)】

活動(成果)指標

※「第2次にのみや男女共同参画プラン」施策(10)No.1参照

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
待機児童数(4月1日)	子育て・健康課	5名	1名				

施策の方向

プランNo.	事業内容	担当部署	平成30年度実績	
			取組み実績内容	今後の課題とその対応
Ⅲ-3-(10)-②-1	地域の支えあい体制の強化 地域包括ケアシステムの構築にむけて地域での見守り体制、生活支援の担い手となる地域住民の支援体制づくりに取り組めます。	高齢介護課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築にむけて地域での見守り体制、生活支援の担い手となる地域住民の支援体制づくりに取り組んだ。 ・「地域支えあいセミナー」開催。実施日:7月26日 参加者:85名(昼の部52名 夜の部33名) ・小学校区ごとの地域の協議体の立ち上げを行った。 	—
Ⅲ-3-(10)-②-2	介護サービスの充実 介護保険事業計画に基づき、在宅医療や介護サービスの充実を図ります。	高齢介護課	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業計画に基づき、在宅医療や介護サービスの充実を図った。 【在宅高齢者生活支援事業】 ・紙おむつの支給:利用者101名 ・軽度生活支援事業:利用者20名 ・訪問理美容助成:利用者8名 ・移送サービス利用助成:利用者21名 ・要援護高齢者登録システム:利用者900名 ・緊急通報システム設置補助を実施:利用者151名 	—
Ⅲ-3-(10)-②-3	障がい児者支援の充実 障がい者福祉計画に基づき、関係機関と連携し、介護サービス、特別支援教育の充実を図り、障がい児者の自立と社会参加を促進します。	【福祉保険課】 教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・手帳取得時には制度案内をするとともに、他課や関係機関と連携し、必要に応じてサービスの提供に繋げ、障害福祉サービスを利用していただくことにより障がい児者への社会活動促進を図った。【福祉保険課】 ・就学前児童を対象とした就学相談の実施(町内学校および特別支援学校とのコーディネート等。【教育総務課】 ・在校生に対して教育支援補助員による体制を整備/教育相談を随時実施。【教育総務課】 ・支援級の補助員を13名配置。【教育総務課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学から就学時、また、障害から介護に切り替わる際のサービス連携の漏れがないよう他課や関係機関と連携を強化していくことが課題であるが、引き続き、情報交換等を行い対応していく。【福祉保険課】
Ⅲ-3-(10)-②-4	公共スペースの有効活用、バリアフリーやプライバシーの視点による公共施設設備等の点検(再掲) 公共施設の再配置に当たっては、子育て世代、高齢者、障がい児者等あらゆる視点を持って機能向上に努めます。	【企画政策課】 財務課 教育総務課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・利用機会の平等性等に配慮しながら、「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」に基づいた取り組みを推進した。【企画政策課】 ・施設機能向上や変更時にスペースの有効活用や利用者の利便性を常に念頭に検討している。【財務課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き計画の推進を図る。【企画政策課】 ・継続して実施する。【財務課】

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(11) > 心と身体の健康づくり支援 【Ⅲ-3-(11)】

活動(成果)指標

※新規
※新規

プラン改定版作成時

評価指標	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
妊婦健診受診率	子育て・健康課	98.6%	69.9%	89.9%				
特定健康診査・健康診査受診率	子育て・健康課	37.2%	39.3%	38.2%				

施策の方向

プランNo.	事業内容		担当部署	取組み実績内容	
				取組み実績内容	今後の課題とその対応
Ⅲ-3-(11)-①-1	妊産婦の健康保持への支援	母子健康手帳発行時に保健師等の専門職員との面談による情報提供や妊婦健診への助成を通じて、妊産婦の健康保持への支援を行います。	子育て・健康課	<ul style="list-style-type: none"> 母子手帳交付時に専門職による面談を実施:129件 マタニティ教室の開催3回×4コース:97名 新生児が生まれた方全戸訪問:138件 離乳食講習会の開催年6回実施:184名 赤ちゃん体操年12回実施:125名 	・引き続き、面談等直接顔の見える関係での支援を実施していく。
Ⅲ-3-(11)-①-2	乳幼児の発育・発達支援	赤ちゃん訪問や乳幼児健診等を通じて乳幼児の健康状況を把握するほか、育児相談や育児発達支援教室において育児不安の解消や親子関係の向上を図ります。	子育て・健康課	<ul style="list-style-type: none"> 母子手帳交付時に専門職による面談を実施:129件 マタニティ教室の開催3回×4コース:97名 新生児が生まれた方全戸訪問:138件 離乳食講習会の開催年6回実施:184名 赤ちゃん体操年12回実施:125名 	・引き続き、面談等直接顔の見える関係での支援を実施していく。
Ⅲ-3-(11)-②-1	保健サービス推進事業	健康増進計画・食育推進計画並びにデータヘルス計画に基づき、健康づくりステーションを中心として、病気の早期発見・治療及び生活習慣病の予防・改善に努めます。	【子育て・健康課】 高齢介護課	<ul style="list-style-type: none"> 歯の健康フェスタの開催 開催時期:6月2日【子育て・健康課】 湘南農業協同組合の協力で、湘南レッドと湘南レッドを使った料理のレシピを配布【子育て・健康課】 地域の通いの場にて月1回30分程度の運動等を実施(216回)【高齢介護課】 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりステーションを拠点に健康づくりの働きかけを行い、健康寿命の延伸を目指す。【子育て・健康課】 地場産の活用として、農協との調整を引き続き行っていく。【子育て・健康課】
Ⅲ-3-(11)-②-2	HIVや薬物乱用防止に関する教育啓発	小中学校において、保健の年間計画に基づきHIV教育を実施します。また、小中学校で薬物乱用防止教室を実施し、正しい知識の普及啓発を行います。中学校エイズ講演会:1回/年	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> HIV教育を年間の保健計画に基づき小中学校で実施。例)「エイズと偏見」、「エイズについて学ぶ」、「エイズを正しく理解する」/HIV教育は保健の年間計画に基づき実施。 中学校エイズ講演会の開催。中学校3年生対象に3月実施。年間1回実施。 薬物乱用防止教室の実施。小学校計1回、中学校計2回実施。※学校内外の講師による 	—
Ⅲ-3-(11)-②-3	生涯スポーツ教室の開催	サッカー、健康づくり水泳教室などを開催し、ライフスタイルにあった健康づくりを支援します。	【子育て・健康課】 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり水中運動教室 実施回数:33回(年間) 参加者:大人198名、子ども1596名【子育て・健康課】 初心者を対象にした硬式テニス教室を年2回実施。【生涯学習課】 湘南ベルマーレのコーチを講師とした小学生対象のサッカー教室を年1回実施。【生涯学習課】 	・町内の参加者が増えるよう普及啓発し、町民の健康づくりとなるよう働きかけていく。【子育て・健康課】
Ⅲ-3-(11)-②-4	生涯にわたる健康づくりの促進	性差に応じたがん検診(乳がん、卵巣がん、子宮がん、前立腺がん)の実施	子育て・健康課	<ul style="list-style-type: none"> がん検診(乳がん、子宮頸がん、前立腺がん)を実施。 乳がんは前年度40歳、子宮頸がんは前年度30歳の方に、無料クーポンを交付。 開催時期 集団がん検診:6月29日、9月6日、11月3日、2月25日。個別がん検診:6月29日~2月28日。 実施人数(個別+集団) 乳がん検診:277名、子宮頸がん224名。 クーポン券利用者 乳がん検診:36名、子宮頸がん18名。 	・乳がん子宮がんの受診率が低いと、あらゆる機会の他、企業との連携を図りがん検診受診の周知を行っていく。

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(11) > 心と身体の健康づくり支援 【Ⅲ-3-(11)】

活動(成果)指標

※新規
※新規

プラン改定版作成時

評価指標	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
妊婦健診受診率	子育て・健康課	98.6%	69.9%	89.9%				
特定健康診査・健康診査受診率	子育て・健康課	37.2%	39.3%	38.2%				

施策の方向

プランNo.	事業内容	担当部署	取組み実績内容	
			取組み実績内容	今後の課題とその対応
Ⅲ-3-(11)-③-1	自殺予防推進事業	子育て・健康課	・「こころの健康講座「統合失調症の基礎知識」～家族・友人・知人としてできること～」 開催時期:12月7日 参加者:35名 ・「ゲートキーパー養成講座」 開催時期:10月22日 参加者:33名 ・「いのちの授業」 開催時期:9月7日、10月31日 参加者:193名 ・「自殺対策強化月間」:庁舎、社協窓口にミニのぼりの設置。庁用車に自殺予防の啓発マグネット取り付け。 開催時期:3月1日～3月31日、9月10日～9月16日 ・「自殺対策普及キャンペーン」:自殺予防の普及啓発を目的に、生涯学習センターラディアンにて普及啓発グッズを配布し、PRを図った。 開催時期:11月11日 配布人数:320名	・二宮町自殺対策計画を作成したため、計画に基づく対策が効果をあげていくためには、その取り組み状況を評価して事業の見直し等を行うPDCAサイクルをによる施策の推進を行っていく。
Ⅲ-3-(11)-③-2	ハラスメント防止のための啓発	【総務課】 教育総務課	・ハラスメント防止に向けて、全職員を対象としたDVD視聴研修を実施した。【総務課】 ・学校現場における各種研修は、ハラスメント防止の前提となる人権教育も含めて取り組まれている。【教育総務課】	・ハラスメント防止に向けて、継続した研修と相談体制の強化を進めていく。【総務課】

「第2次にのみや男女共同参画プラン【改定版】」 実施事業進捗状況調査結果

< 施策(12) > 男女共同参画推進活動への支援【Ⅲ-3-(12)】

活動(成果)指標

※新規

評価指標	担当課	平成29年度	平成30年度 【現況】	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
町民活動団体との連携事業数	地域政策課	1事業	1事業				

施策の方向

プランNo.	事業内容		担当部署	平成30年度実績	
				取組み実績内容	今後の課題とその対応
Ⅲ-3-(12)-①-1	プランの推進・管理	「二宮町男女共同参画プラン庁内連絡会議」により、プランの進行管理を行い「二宮町男女共同参画プラン推進連絡会」で計画を見直します。	地域政策課	・プランの進行管理を行い、各課等とりまとめのうえ、進捗状況管理を行った。	・引き続きプランの進捗管理を行っていく。
Ⅲ-3-(12)-①-2	町職員への男女共同参画意識の啓発と研修	講座等を開催する際は、町職員へ参加を呼びかけ、男女共同参画に関する認識を高めます。	地域政策課	・庁内連絡会議委員へ「男女共同参画フォーラム」の参加案内や事前アンケートの依頼を行った。	・今後は庁内連絡会議委員だけでなく、町職員全体への啓発を図り参加を促していく。
Ⅲ-3-(12)-②-1	町民活動サポートセンターの機能拡充	ボランティア活動情報の窓口を一元化し、男女共同参画の視点を持って、町民活動情報の受発信、支援を行います。	地域政策課	・町民活動サポートセンターにて、町民活動情報や各種講座等の情報提供を行い、必要に応じて支援を行った。	・情報提供や支援は引き続き行い、今後は、工夫をし「男女共同参画」の視点を取り入れていく。